



菊川公民館だより

令和6年6月号

No.190

婦人会料理教室(1回目)

5月11日(土)に、菊川婦人会(代表者:中尾若子さん)の皆さんが1回目(年3回)の料理教室を行い、講師の大黒富与さんの指導のもと、ミニ春巻きと竹の子ご飯を作りました。この料理教室は、開催ごとに婦人会メンバーの中から講師役を決めることになっています。



講師の大黒富与さん(写真左)



ミニ春巻き



竹の子ご飯



フードパントリーが開催されました

5月8日(水)、公民館ホールで愛南町社会福祉協議会による「フードパントリー」が開催されました。「フードパントリー」は、個人の方から企業(フジ・JA)を通じてご寄付いただいた食料品を生活に困っている家庭や支援団体など、多くの皆さんと分け合う取り組みですが、この日は城辺保健センター(午前)と緑公民館(午後)でも行われました。



災害と人権問題について考える

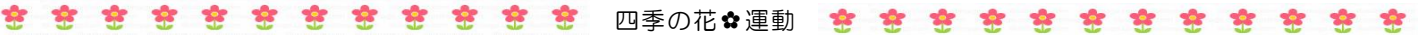
東日本大震災では、要配慮者（高齢者、障がい者、難病患者、妊産婦、乳幼児その他の特に配慮を要する者）等への配慮不足や偏見から、様々な人権問題が明らかになりました。南海トラフ巨大地震では、本県がかつて経験したことのない甚大な被害が予想されています。今後、県内でも起こりうる災害が発生したとき、人権尊重の立場から、どのような配慮をすべきかが問われています。今回は、避難所生活の問題点について少し考えてみましょう。

【問】避難所における次の状況は、誰にとってどのような問題がありますか。

- ①高い所に漢字で貼り紙 ②避難所の中央付近に居住スペース

回答例

- ①車椅子利用者や子ども等、低い視点で生活している人にとっては分かりづらい。また、外国人や子ども等にとっては、漢字表記は読みづらく、仮名表記が必要。
②視覚障がい者にとっては、広い空間にぼつりと置かれることは、周囲の把握が困難で、方向すら分かりにくくなる。（社会福祉法人日本盲人福祉委員会「災害時の視覚障害者支援者マニュアル」より引用）



老人クラブ定例会

5月10日（金）、菊川老人クラブ（代表者：石川良子さん）の皆さんが調理室でかぼちゃ饅頭とよもぎ餅作りを行いました。その後はホールに移動して、今後の予定について話し合いました。



【編集後記】

5月12日（日）に予定していた「菊川地区グラウンドゴルフ大会（春季）」ですが、天気予報の通り当日だけ雨が降り、無念の中止となりました。次は秋に開催予定ですので、よろしくお祈りします。
4月17日（水）に発生した震度6弱の地震には、皆さん肝を冷やしたことと思います。災害を想定し、常日頃からの備えを意識しておきましょう。(I)

※入稿日までに集まった俳句を紹介しています。

指折りて風車数える初夏の風	春の果てヴィオロン響く寂光土	里帰り古巢の修理夕燕	新宮の八十八夜花かすり	止まぬまじ聞こえぬ耳をさらしけり	万物の息柔らかき余花の頃	かの池に牛蛙鳴く寮の夜	帆に千のひかりの粒子みどりの日
中川	宇野	河野	河野	福田	安岡	和田	浅野
一天	野	野	清	田	岡	田	野
喜	弓	孝	美	り	留	靖	勇
			美	さ	美	樹	一
			子		子		郎

菊川俳句会



於 菊川公民館
五月三十一日（金）

◎新聞・雑誌・段ボール・廃乾電池の収集日は、6月5日（水）です。



菊川公民館区人口（令和6年5月1日現在）		
男	192人	（前月比-1）
女	190人	（前月比-1）
合計	382人	（前月比-2）
世帯数	208戸	（前月比±0）

発行元：菊川公民館

〒798-4101

愛南町御荘菊川1159-1

TEL・FAX 74-0334

